

6、専門部独自の感染症対策について

【行動規範】

新型コロナウイルス感染を避けるため、大会期間中は協会が決めた下記の事項を順守し、専門部の指示に従ってください。

- ① 大会前は、感染が発生している地域への移動は控えること。また、在住府県下であっても移動・行動には十分注意すること。
- ② 以下の事項に該当する場合は自主的に参加を見合わせること。
ア 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛、味覚障害、嗅覚障害などの症状がある場合)
イ 同居家族や身近な知人に感染者または感染が疑われる方がいる場合
ウ 直近 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ③ 試合会場へは必ずマスクを持参し、プレー時以外は常に着用すること。特にクラブハウス内、マスター室前、バック置き場など共用スペースでは、必ず着用すること。また練習グリーン上ではできる限り着用すること。
- ④ こまめな手洗いを行うこと(30 秒程度かけて水と石鹸で手首まで丁寧に洗う)。
- ⑤ 設置している消毒用アルコール剤で手指消毒を実施すること。
(アレルギーその他、個々の手の状態により④のみでも可)
- ⑥ 口・鼻・目に不用意に触れないこと。
- ⑦ 可能な限りソーシャルディスタンス(約 2m)を保つこと。
- ⑧ 競技中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ⑨ 旗竿(共有物)に触れることを極力避けること。
- ⑩ 公式指定練習・試合当日の朝は体温を測定し健康チェックを行うこと。
- ⑪ 出場選手は、体調不良を少しでも感じたらコース上すべての人のために競技を棄権し競技委員に申し出ること。
- ⑫ 試合当日、健康状態を専門部へ報告すること。
- ⑬ 大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、専門部に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- ⑭ 万一、大会期間中に陽性者が会場にいたことが判明した場合、二次感染の予防のため専門部から状況をお知らせする。(取得した個人情報、緊急連絡時以外は使用しません)

【大会での感染予防策】

- 委員会の取り組み ▶ 選手の行動

◆クラブハウス

- クラブハウス内の換気を実施します。
- 消毒用アルコールを各所に配備します。
- 非接触型の検温器による検温を実施します。
(37.5° C以上の場合は、出場の可否を連盟で協議します)

◆フロント

- ▶ 手指消毒後にチェックインすること。
- 選手へのインフォメーションボードは、密を避け分散して掲示します。

◆ロッカーの振分け

- 同時に使用する人数や各選手のスタート時刻を考慮します。

◆トイレ

- 消毒用アルコールを配備します。

◆レストラン

- アルコール消毒を定期的かつ必要に応じて随時行います(テーブル・椅子など)。
- テーブルは一定の間隔で配置します。

◆スタート時刻

- 大会のティータイムは 8分間隔とします。
- スタート地点には、スタートする組だけが10分前に集合すること。

◆スターター

- ソーシャルディスタンスの確保のため、選手との間隔を開けて机を配置します。
- 追加のローカルルール等の説明は、口頭による伝達ではなく文書で掲示します。
- カードを含めた配付物はテーブルに置くので、選手自身で取ること。

◆アテスト

- アテストの前後に各自でアルコール消毒をすることとします。
- *以下のローカルルールを追加します。
- ソーシャルディスタンスの確保のため、間隔を開けるようにします。

◆競技委員・マーシャル

- コース内を巡回する際、他の競技委員との乗用カートの共用をできる限り避けます。
- 選手との会話の際のソーシャルディスタンスの確保とマスク着用を心掛けます。

◆成績表示

- 成績はアテスト会場に掲示しますが密の状態を避けるため、確認後は速やかに移動してください。

◆表彰式

- 換気の状態や広さと、出席する人数(密度)を勘案して実施します。